



# 第58次観測隊員に インタビュー



58次越冬

さとう ひろ ゆき  
**佐藤裕之さん**

機械（国立極地研究所 南極観測センター）

（2016年7月現在）



**南極では、どんな研究やお仕事をする予定ですか？**

昭和基地で隊員が生活出来るように、雪をとかして造水装置で飲み水を造り、南極の寒さに耐えられるように建物のなかをボイラーなどで暖房し部屋を温めています。

（これらを給排水設備、暖房設備といひまとめて機械設備全般と言います。）

この機械や装置を日々調整し点検し、飲み水や基地の室温が、どんな時でも同じ状態であることを確認しています。

また、機器の部品も壊れることがありますので、機械の修理を行ったりしています。



**観測隊員にえられたときの気持ちをおしえてください。**

素直に嬉しいです。

今回は経験者としての参加になりますので、大きな重圧も感じています。

また、南極の素晴らしさに期待しています。



**観測隊員としての抱負をおねがいします。**

隊員に託された仕事はひとり一人異なっていますので、その隊員の行動と仕事を多くの方に知って頂くように、務めたいです。

南極観測隊の活動は、たくさんの観測研究が行われています。

生き物の調査、南極の気象や大気などの様々な観測研究に興味を持って参加することも出来ます。また、基地を守るために建物を造り、電気をつけたり、ごみを分別し南極をきれいに維持したり、車を修理したり、食事を作る調理や、日本へ南極のことを伝える仕事などと様々あります。なにかが出来るようになることで観測隊になれると思います。